

みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる

2012 **11**

2012 年 10 月 25 日発行
通巻 167 号

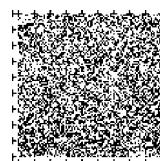


熱中手帖。-これまで×これから- vol.5

公益財団法人国際交通安全学会
IATSSフォーラム

所長 芳賀 朗

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



執中手帖。

—これまで×これから— vol.5

質の高い多様性環境の中で
さまざまな経験を提供していきたい

公益財団法人国際交通安全学会
IATSS フォーラム

所長 は が あきら 芳賀 朗

東南アジアの将来を担う人材の育成に寄与するために

IATSS フォーラムが設立されたきっかけをお聞かせください。

理想的な交通社会の実現をめざし、さまざまな分野から多くの専門家を迎えて自由に討論し、研究する場として1974年に国際交通安全学会（IATSS）^{*1}が設立されました。この学会では、交通及び交通安全を社会のさまざまな視点から考えるために、交通関係はもちろん、経済学者や心理学者、医学、旅行作家など、多種多様な専門家たちが会員として活動しています。

そして、1983年にマレーシアで行われたIATSS主催の国際シンポジウムにおいて、当時のマレーシア首相・マハティール氏と本田技研工業の創業者・本田宗一郎氏が同席し、将来の東南アジア発展の源泉は人材の育成であるという共感がきっかけとなり、東南アジアの将来を担う人材の育成に寄与すべく、1985年に「IATSS フォーラム」がスタートしました。

* 1 IATSS : International Association of Traffic and Safety Sciences

多くの人と出会い、お互いに理解し合うことがリーダーシップを育む

どのような研修を行っているのでしょうか？

IATSS フォーラムでは、東南アジア9カ国から2名ずつ選ばれた優秀な若者たち18名を日本・鈴鹿に招き、55日間のリーダーシップ研修を行っています。プログラムは大きく「セミナー」「グループ研究」「視察」「文化交流」に分類できます。昨年までの26年間で、約830人の卒業生を送り出しています。

現在一番力を入れているのが「グループ研究」です。国・職業等異なるバックグラウンドをもつ研修生が3つのグループに分かれ、研究テーマに関する自分たちの国における現状・問題・解題を話し合い、相互理解を深め、それらの中から重要と思われる対象項目を抜き出し、現実的解決に向けてアイデアを出し合って、最終的には草の根運動的プロジェクトを提案してもらいます。

国によって社会環境、抱えている問題が異なるので、例えば「子どもの安全・安心」をテーマにする

と、ストリートチルドレンや児童売春、人身売買など、日本ではあまり考えられないようなことが日常問題として出てきます。

時間的に余裕のない過程においてグループのメンバーそれぞれが、高いストレスを感じるようになりますが、お互いにケア・フォローし合い、壁を乗り越える経験が各人の“リーダーシップの涵養^{かんよう}”につながるのだと思います。最近では、このグループ研究プロジェクトを、母国に持ち帰って実行したケースがいくつかありました。研修の成果の一つとして、これは本当に嬉しいことです。

また、「文化交流」では、研修生たちが自ら作り上げるイベント「文化交流会」があり、母国の文化についていろいろ工夫を凝らして紹介してくれます。昨年は、各国のおばけの伝承や怪談などの披露がありました。そのほかブース紹介、チャリティーオークションなど地域の方も気軽に参加し、国際交流が体験できるものとなっています。

このような文化交流もとても貴重で有益な経験であり、東南アジアと日本の架け橋を強くするという意味でも、多くの地域の方々にご参加いただけると嬉しいです。

* 2 東南アジア 9 カ国：タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン・ベトナム・カンボジア・ラオス・ミャンマー

高い志を持つ若者のために、時代に合ったプログラムを築く

今後の課題や抱負は？

IATSS フォーラムは、発足当初、東南アジアの優秀な若者たちに日本の近代化過程から学んでもらうことを目的としていました。「人材育成」という目的は変わりませんが、数年前からは日本と ASEAN^{*3} の課題を学び合いながら「協働共創型のリーダーシップ」を磨く場へと大きく変更してきました。今後、東南アジアとしてどのようなリーダーシップが必要とされるのかを考えながらプログラムを構成するとともに、できるだけ多くの若者に研修の機会を与え、各国各地の将来を担う人材を増やしていけるプログラムにしたいと思っています。

IATSS フォーラムには、性別や職業、習慣や宗教など背景が違うものの、才能あふれる志高い優秀な若者が集まります。彼らが、周到に準備されたいろいろなプログラム環境で数多くの体験を重ねながら知識を広げ感性を磨くこと、すなわち、質の高い多様性環境の中でのさまざまな経験は、必ず今後のキャリアアップ・人格形成に生きるものと信じています。

正直なところ、研修直後では、彼等にとってどれだけこれらの体験がプラスになったのか、当人自身もあまり認識できていないと思います。

しかし、「フォーラムでの経験が自分の人生を変えた」という声をこれまで何人もの同窓生から伺いました。社会に戻っていくつもの困難な場面に出会ったとき、研修で得たものが大きく役立っているからでしょう。

一方、研修生には日本の現状をその目で直に見、感じてもらい、日本について理解を深めていただきたいですし、また、同時に自国について改めて振り返り、自分の国・地域の文化を見直し愛着と自信を深めてもらいたいと思います。それが自国の発展に寄与する基本姿勢であり、日本と自国の架け橋となる第一歩になるのだと思います。

IATSS フォーラムは「人材育成」と「文化交流」を両立させたユニークな経験の場として、私たちはこれからも頑張っていきたいと思っています。

* 3 ASEAN (アセアン)：東南アジア諸国連合 (Association of South - East Asian Nations) の略称。加盟国は現在、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジアの 10 カ国です。



研修で行われる講義のようす

DATA

公益財団法人国際交通安全学会 IATSS フォーラム

住 所 〒 510-0201
鈴鹿市稲生町 7992
T e l 059-370-0511
F a x 059-370-0505
E - m a i l mail@iatssforum.jp

ホームページ <http://www.iatssforum.jp>
代 表 者 所長 芳賀 朗
団体設立年月日 1985 年 9 月 17 日
会 員 数 8 名

助成金情報



福祉



まちづくり



市民活動



芸術



環境



国際



福祉

正力厚生会

2013 年度がん患者団体助成

受付期間 11月16日(金) 必着

対象団体 がん患者会、がん患者やその家族を支援するグループ(医療機関内の患者会等を含む)など。(法人格の有無不問)

対象活動 がん患者会やがん患者を支援する団体が主体となって取り組む事業。

相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信など、企画運営を対象とする。

助成金の額 1団体当たり50万円以下

応募方法 HPより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して事務局あて送付。

※詳細はHP参照

問合せ先 (公財)正力厚生会 事務局

〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1

(読売新聞東京本社11階)

Tel 03-3216-7122 Fax 03-3216-8668

HP <http://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>



まちづくり



市民活動

2013 年度 JT NPO助成事業(通常助成) 募集 ～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

受付期間 11月20日(火) 必着

対象団体 ①非営利法人であること
②2012年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績を有すること
③法人の設立目的や活動内容が、政治、宗教、思想などに偏っていないこと

対象活動 非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する地域コミュニティの再生と活性化につながる事業。例えば、地域一体となって取り組む以下の事業。

○里山の森林保全・植林事業

○環境美化活動

○文化芸術・スポーツ等を通じた地域の異世代交流事業

○地域住民が参加するまちづくり事業 など

※詳細はHP参照

助成金の額 1件あたり150万円を限度。助成総件数40件程度。
※同時募集の「東日本大震災被災地支援助成」に対し数件を予定

応募方法 HPより応募書式をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して郵便または宅配便で送付。

(Fax、直接持参等は不可)

問合せ先 日本たばこ産業(株)CSR推進部 社会貢献室

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

Tel 03-5572-4290 Fax 03-5572-1443

HP <http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/np/entry/index.html>



芸術

三菱 UFJ 信託地域文化財団

2013 年度助成団体募集

受付期間 11月30日(金) 当日消印有効

対象団体 永年地域の音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野において、文化の振興に努力している国内の諸団体。

※音楽・演劇・伝統芸能部門は、アマチュアの団体・公演に限る。

※美術展部門は美術館が企画する展覧会等が対象となるので、アマチュアとは限定しない。

対象活動 国内の団体・法人が、日本国内で行う、地域文化振興に寄与し、文化・芸術的に優れた、公演・展覧会等。

(2013年4月1日～2014年3月31日までに開催もしくは会期が開始するもの)

※詳細はHPの「募集要項」参照

助成金の額 1件当たり20～50万円程度(近年の実績)

応募方法 HPより「助成申請書」をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して郵便または宅配便で送付。

問合せ先 (公財)三菱UFJ信託地域文化財団 事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-4 日本橋ビル

Tel 03-3272-6993 Fax 03-3272-6994

HP <http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp>



環境

日本河川協会

「きれいな川と暮らそう」基金 平成25年度募集

受付期間 11月30日(金) 当日消印有効

対象団体 学校および市民団体(NPO、NGO、サークルなど)

対象活動 水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動

助成金の額 1団体あたり100万円を上限

応募方法 HPより申請書類をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の添付書類・受付確認用返信ハガキを同封して事務局あて郵送。※詳細はHP参照

問合せ先 (公社)日本河川協会「きれいな川と暮らそう」基金 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5

麹町E・C・Kビル3階

Tel 03-3238-9771 Fax 03-3288-2426

HP <http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/>



国際

国際交流基金

地域リーダー・若者交流助成

受付期間 12月3日(月)

対象団体 日本国内の非営利団体(個人は対象外)

対象活動 日本国内の青年や学生の団体、地域に根ざした社会的活動を行うグループ、およびNPO等が実施する国際対話・交流活動。

①団体が実施する、主として青年層及び地域住民等による国際文化交流、文化発信事業

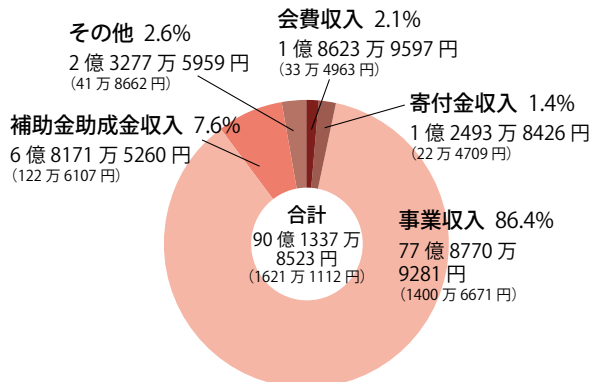
三重県 NPO 法人活動実態調査報告 5

Ⅱ 調査結果

(4) 資金

今月号は「資金」の中から、NPO 法人の財源と、寄付への取り組みについての項目を抜粋してご紹介いたします。

財務状況について



() 内は 1NPO 法人当たりの平均額

※資料：三重県・生活文化部男女共同参画・NPO 室

NPO 法人の収入は増加傾向を示しており、平成 22 年の総収入は 90 億円を超えています。

総収入の内、最も大きな割合は「事業収入」であり、全体の 86.4% を占めています。

一方、「寄付金収入」は 1.4%、「会費収入」は 2.1%と、極端に少ない割合となっています。

寄付について

寄付に取り組んでいる	20.3%
考えているが実行できない	42.0%
全く考えていない	37.7%

※調査対象 561 団体のうち、有効回答数 395 団体の回答から割り出しています。

「寄付の促進に取り組んでいる」と回答した団体の、具体的な取り組み方法として…

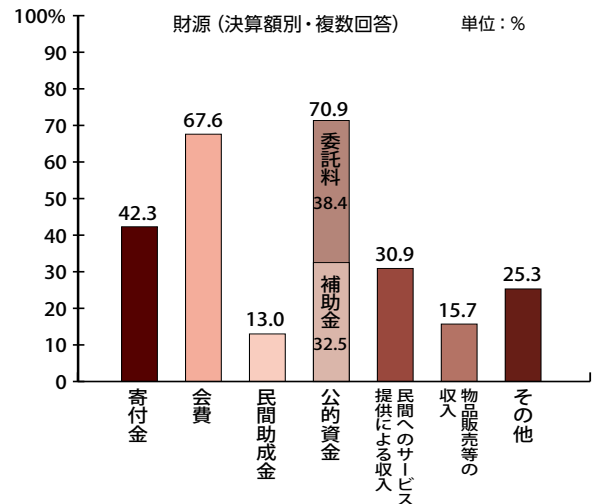
- ・企業との連携による募金
- ・事業参加者からの寄付
- ・役員の寄付
- ・イベントでの広告

といった回答が目立ちました。

その他、「施設内に募金箱を設置している」「会報誌に振込用紙を同封している」といった回答もあり、寄付の促進に向けてさまざまな工夫を凝らしているようです。

財源について

※公的資金は国・県・市町からです。



今回の調査対象となった NPO 法人からの回答の中で、団体の財源の内訳として最も大きいのは、国、県、市町からによる「公的資金」でした。また、最も重要だと考える財源についても、「公的資金」が 29.6% と最も多く、県内の NPO 法人は、財源として行政等の公的機関からの資金に期待していることが明らかです。

NPO 法人にとって重要な自己財源の一つである「寄付」についてですが、三重県内では、まだ寄付に対して積極的に取り組んでいるとは言い難いのが現状です。

平成 22 年の総収入のうち、90 億を超える収入があるに関わらず、寄付金の割合は 1.4% と少ない状況です。

寄付の促進について取り組んでいる団体は、回答を得られた NPO 法人の 20.3% に留まり、「考えているが実行できていない」が 42.0%、「全く考えていない」が 37.7%と、寄付の促進に対してまだまだ積極的に取り組んでいるところは少ないことがうかがえます。

次号は、「会計」から抜粋したものを掲載する予定です。

- ②草の根レベルの国際交流活動の定着と担い手の育成を促す事業
- ③地域からの国際的発信、地域社会の活性化に貢献する事業

助成金の額 これまでの助成実績は 1 件あたり約 60 万円前後
対象は旅費 (国際航空賃、国際船賃、国内交通費、滞在費)

応募方法 HP より申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して郵便または宅配便にて送付。直接の持込みも可。(E-mail、Fax は不可)

※詳細は HP 参照

問合せ先 (独法) 国際交流基金 日本研究・知的交流部 企画調整チーム

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4 丁目 4 番 1 号

Tel 03-5369-6069 Fax 03-5369-6041

HP <http://www.jpff.go.jp/j/program/intel.html>

※知的交流会議助成、日米センター公募助成なども同時募集中

E-mail **HP** ホームページ

募集とご案内

個人ボランティア参加募集!

みえ発! ボラパックⅡ

みえ災害ボランティア支援センターでは、東日本大震災で被災した岩手県山田町を応援しています。バスで現地に入り、週末に活動するボランティアを募集します。

日程 第20便 11月9日(金)~12日(月)
第21便 11月23日(金)~26日(月)
(移動日含む4日間)

活動内容 ・現地で被災者のニーズに応じたボランティア活動
・同乗する他ボランティア団体、グループの活動補助
・新聞コサージュ作りまたはハンドマッサージなどの指導および補助(予定)

募集人数 各便10~20名ほど(先着順)
※18歳未満(高校生以下)の方は保護者の同意と責任者の同行が必要

参加費 バス代(往復) 15,000円
※18歳未満(高校生以下)は5,000円
※詳細はHP参照

応募締切 第20便 11月2日(金)
第21便 11月16日(金)

申込方法 HPに掲載のメールフォームから、またはHPから申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、Faxにて申込み

問合せ先 みえ災害ボランティア支援センター
〒514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階
Tel 059-226-6916
Fax 059-226-6918

HP <http://mvsc.jp/>

展示・ブース出展団体募集

Hand in Hand!

みえの地球市民 2012

みえNPOネットワークセンター(みえ県民交流センター指定管理者)は、三重県国際化推進事業の一環として、県内の国際交流団体有志等による企画会議を経て、「Hand in Hand! みえの地球市民 2012」を開催いたします。いろいろなプログラムの一つとして、市民活動団体の活動紹介や資金づくりを目的とした展示や作品・民芸品の販売ができるコーナーを設けます。

ただ今、出展団体募集中!お申し込みはHPからできます。

日時 12月9日(日) 10:00~16:00
場所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

募集団体数 21団体(定数に達し次第締切)
ブースサイズ 長机1台(長さ1.8m)とパネル1枚程度

出展料 1,000円
主催 (特活) みえNPOネットワークセンター

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971

メール center@mienpo.net
HP <http://www.mienpo.net/center/>

身近な食環境を見つめ直そう

~すずかの食と食環境講座~ 鈴鹿水産研究室見学と 伊勢湾の漁業と環境

内容 ①研究室の見学と説明
②伊勢湾で捕れる魚や環境と生態系について
③あさりなど貝類の漁業、黒海苔の養殖、コウナゴなどの持続的生産
④河川の環境と生態系についてほか

講師 鈴鹿水産研究室 職員
日時 11月16日(金) 9:30~11:30
場所 三重県水産研究所鈴鹿水産研究室
(鈴鹿市白子1-6277-4)

募集人数 50名
参加費 無料 ※要申込み
応募締切 11月12日(月)
問合せ先 すずか生涯学習インストラクターの会
Tel 090-8864-0211(一尾)
Fax 059-386-6744

メール tka-ichi@mecha.ne.jp

低山ハイク! 宮川の山を歩こう

~大人のエコツアープログラム~ のんびり山休日のすずめ♪

登山よりももっと気軽に自然の中へ遊びに行きたい方におすすめ!自然散策に手作りランチ付きの、のんびり自然体験プログラムです。

日時 11月17日(土) 9:00~15:30
場所 大台町役場宮川総合支所
宮川流域の山、迷岳へと続くブナ林の美しい尾根を目指す予定です。歩行距離約4km、高低差は約250m、歩行時間片道1時間30分

対象 18歳以上

参加費 5,500円(プログラム費・昼食材料費を含む)

募集人数 10名
問合せ先 (特活) 大杉谷自然学校
〒519-2633 多気郡大台町久豆199
Tel 0598-78-8888
Fax 0598-78-8889

メール info@osugidani.jp
HP <http://osugidani.jp/>

NPO 経験交流セミナー

コラボで10倍の力を発揮!!

「異業種・異分野とのコラボレーション」をテーマに、協働することで「できなかったことをできるようにした」コツや仕組みづくり、新しいサービス提供などの事例発表を聞き、後半はワークショップで学びます。

【伊勢会場】

日時 11月20日(火) 13:30~
場所 いせ市民活動センター(いせシティプラザ)伊勢市岩瀬1-2-29
発表者 「メディアネット四日市」会長 久保田 領一郎さん
「防災一座」代表 松野 博さん

【四日市会場】

日時 12月7日(金) 13:30~
場所 四日市市なやプラザ3階音楽室大(四日市市蔵町4-17)
発表者 「森守クラブ」代表 三浦 美恵さん
「株式会社伊勢安土桃山文化村」芸能部兼地域対策本部部長 斉藤 やすさん
「いせ市民活動センター」企画部長 浦田 宗昭さん
講師 ※ワークショップ(両会場とも)
アイディア・ラボ [β]
代表 池山 敦さん
副代表 米山 哲司さん

募集人数 各回30名
参加費 各回500円
応募方法 Tel、Fax、E-mailのいずれかで、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを連絡。窓口での直接申込可。

主催 (特活) みえNPOネットワークセンター
共催 四日市市なやプラザ運営委員会、いせ市民活動センター((特活)いせコンビニネット)

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971

メール center@mienpo.net
HP <http://www.mienpo.net/center/>

地域のきれいな浜を守ろう

第17回 白塚海岸感謝祭と海岸清掃

白塚の浜を愛する会は、「自然豊かな白塚海岸を未来の子どもたちに受け継ぎたい」と活動を始めました。海岸をきれいにする活動に、皆様もぜひご参加ください。

日時 11月18日(日) 9:00～12:00
(雨天中止)

【プログラム】

9:00～10:00 海岸清掃
10:00～11:00 ゲーム大会
11:00～12:00 浜焼パンと浜鍋など

場所 白塚海岸

募集人数 50名 ※要申込み

主催 白塚の浜を愛する会

問合せ先 Tel 090-7605-2102(西口)

若者自立支援

若者の自立を考える家族向けセミナー

いわゆる「ニート」と呼ばれる若者たちは、自身で解決しづらい生きづらさを抱えています。そこで三重県では、小説「ボーダー・負け弁」を執筆された、横溝正史ミステリ大賞受賞の社会派作家である大門 剛明氏を迎え、若者を支える家族向けセミナーを開催します。

日時 11月23日(金・祝) 14:00～16:00

場所 いせ市民活動センター(いせシティプラザ)

対象 若者の自立に悩む家族、および関心のある方

参加費 無料 ※要申込み

主催 三重県若者自立支援センター

共催 (特活) いせコンビニネット

問合せ先 Tel 059-246-1212(沖)

Fax 059-222-3301

E-mail wakamono@pref.mie.jp

HP <http://www.oshigoto.pref.mie.lg.jp>

平成24年度 女性に対する暴力防止セミナー

気づいてください ～あなたのそばの 見えないDV～

I. 講演会「なぜ男は暴力を選ぶのか～DV被害者の実像と対策」

講師 東北大学大学院文学研究科教授
沼崎一郎さん

II. 朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」

演者 伊賀市市民グループ「ポップ会」
「伊賀市子育てインストラクタースマイル母」

III. 伊賀市からのDVに関する報告

報告者 伊賀市健康福祉部こども家庭課こども家庭係主任 津田顕克さん

日時 11月18日(日) 13:30～16:00

場所 伊賀市ゆめぼりすセンター2階会議室

募集人数 100名 ※申込み不要

託児 無料(未就学児)

※11月9日(金)までに申込み

問合せ先 ①三重県男女共同参画センター「フレンティエ」

〒514-0061 津市一身田上津部田1234

Tel 059-233-1131

Fax 059-233-1135

E-mail frente@center-mie.or.jp

問合せ先 ②伊賀市男女共同参画センター

〒518-0873 伊賀市上野丸之内500

Tel 0595-22-9632

Fax 0595-22-9666

E-mail jinken-danjo@city.iga.lg.jp

HP <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyuu/H24/016dvsemi.html>

災害ボランティアの現場について、共に学びませんか?

「災害ボランティア実践道場」参加者募集

第二門 プロから学ぶ・救援物資の光と影

日時 11月10日(土) 10:15～16:15

場所 三重県営サンアリーナ[第5会議室]

募集人数 50名(参加費 2,000円)

締切 11月7日(水)

第三門 災害発生!チェーンソーが最も有効な資機材になるために

日時 11月17日(土)～18日(日)

場所 尾鷲市キタガワノホトリ

募集人数 20名(参加費 9,000円)

締切 11月12日(月)

第四門 災害ボランティアセンターの役割と運営

日時 12月8日(土) 10:00～16:00

場所 伊賀市ゆめぼりすセンター

募集人数 30名(参加費 1,000円)

締切 12月5日(水)

第五門 その時、災害時要援護者は!

日時 12月15日(土) 10:00～16:00

場所 みえ県民交流センター

募集人数 50名(参加費 2,000円)

締切 12月12日(水)

※詳細はHP参照

対象 ・災害ボランティア活動の経験がある、または興味がある方
・各講座の内容に取り組んでい
る、または取り組んでみたい方
・災害ボランティア活動をする
気がある方

申込方法 HPに掲載のメールフォームから、またはHPから申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、Faxにて申込み

問合せ先 (特活) みえ防災市民会議 事務局
〒516-0005 伊勢市竹ヶ鼻町170-1
Fax 050-7000-6029

E-mail vbosaimie@gmail.com

HP <http://www.v-bosaimie.jp/mcdp/dvc/invite2012.html>

E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

NPOのための なんでも相談会

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は? 職員を雇う時の手続きは? 助成金をとりたいけど... など、NPO に関するご相談に応じます。

※抽選のため、相談日の 1 週間前にはお申込みください。

【日 時】 2012 年 11 月 19 日 (月) ① 15:30 ~ 16:30
② 16:30 ~ 17:30

2012 年 12 月 15 日 (土) 13:00 ~ 14:00

※上記時間帯 1 団体のみとなります。

【対 象】 NPO 法人設立を考えている団体や個人、
NPO・中間支援センタースタッフ、
NPO・市民活動に関心のある市民など

【相 談 員】 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター
理事長 服部則仁

【場 所】 みえ県民交流センター (アスト津 3 階)

【お申込み先】 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel 059-222-5995 Fax 059-222-5971
E-mail center@mienpo.net

認証した特定非営利活動法人
(2012 年 9 月 10 日 ~ 2012 年 10 月 9 日 認証分)

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

① 特定非営利活動法人
環境再生職人ネットワーク
② 桑名市安永六区割 968 番地
③ まちづくり、環境、子ども、職業能力、
その他
④ 2012 年 9 月 10 日
⑤ 理事長 松尾 正

① 特定非営利活動法人 Earth アース 530
② 度会郡大紀町崎 1960 番地
③ まちづくり、環境
④ 2012 年 9 月 10 日
⑤ 理事長 渡邊 典浩

① 特定非営利活動法人 津市スポーツ協会
② 津市北河路町 19 番地 1
メッセウイング・みえ 2 階
津市スポーツ文化振興部スポーツ振興課内
③ 保健、社会教育、まちづくり、文化、災害、
子ども、その他
④ 2012 年 9 月 18 日
⑤ 会長 長谷川 之快

① 特定非営利活動法人 この役場フレンズ
② 三重郡菟野町大字潤田 1032 番地 6
③ 社会教育、まちづくり、文化、環境、災害、
地域安全、子ども、経済活動、観光の振興
④ 2012 年 9 月 28 日
⑤ 代表理事 毛利 広行

① 特定非営利活動法人
寄付の見える化を推進する会
② 桑名市多度町柚井 1244 番地
③ 社会教育、国際、情報化社会、
経済活動、その他
④ 2012 年 10 月 2 日
⑤ 理事長 藤本 健史

① 特定非営利活動法人
アドバイザー
② 志摩市阿児町甲賀 4667 番地 3
③ 社会教育、情報化社会、職業能力、
その他、観光の振興
④ 2012 年 9 月 28 日
⑤ 理事長 北出 繁久

① 特定非営利活動法人
ストラピア
② 松阪市大黒田町 1614 番地 16
③ 保健、人権、障がい者の自立と共
生社会
④ 2012 年 10 月 2 日
⑤ 理事長 堀 千恵子

① 特定非営利活動法人 元気の素
② 伊勢市大世古 3 丁目 5 番 8 号
③ 保健、人権、男女、その他
④ 2012 年 10 月 9 日
⑤ 理事長 山本 史子

NPO相談

日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。

Q 「複式簿記」って、むずかしそうだからイヤなんですけど。
「活動計算書」や「貸借対照表」も、やっぱりむずかし
そうなので。

A よくわかります。「複式・簿記」という言葉からもうむずか
しそうです。NPO 法では「正規の簿記」であればよいので、
きちんとつけてあれば単式簿記でかまいません。網羅性、検
証可能性、秩序性が確保できていればいいのです (正規の簿
記の原則)。そこから、「活動計算書」「貸借対照表」がつく
ればいいのです。

「活動計算書」は、企業会計の「損益計算書」に近いものです。
その一年間に発生した費用と収益を計上して、正味財産の増
減を表すものです。【費用】+【正味財産の増減】=【収益】
「貸借対照表」は、期末時点の資産、負債、正味財産の状況
を表すものです。【資産】=【負債】+【正味財産】

つまり、一年間の活動による、そのNPOの収益力と財政
力を説明できることとなります。けれども実は、NPOの経
営に必要な全ての資源をお金で表している訳ではないのがN
POのおもしろいところです。ですから、事業報告書がとて
も大切になります。

活動計算書の科目

【費用】	【収益】
【正味財産】	

貸借対照表の科目

【負債】	
【資産】	【正味財産】



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボラ
ンティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や
資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆ 社会貢献でメシを食う。

監 修: 米倉誠一郎 竹井善昭 著

発行所: ダイヤモンド社

発行日: 2011 年 10 月 31 日【第 3 刷】

◆ ソーシャル・ビジネス 地域の課題をビジネスで解決する
大室悦賀・特定非営利活動法人大阪NPOセンター 編著

発行所: 中央経済社

発行日: 2011 年 8 月 1 日

◆ しまねNPO読本 2011

～読んで納得・知って得する・あなたの身近なNPO～
島根NPO連絡協議会/島根県NPO活動推進室・編

発 行: 今井印刷

発 売: 今井出版

発行日: 2011 年 3 月 23 日

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月 10 日です。掲載希望の方は 10 日までに情報をデータでお送りください。(詳細 6 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三
重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いな
べ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市
市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずか
のぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中央大学 (伊
勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志
摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリ
ート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動
支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)め
いわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市
民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/
メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊
勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/
三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/
三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテ
みえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重
県鳥羽/パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協
賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。